

人口減少を踏まえた地域づくり—中間とりまとめ（総論）—

1. 現状認識

- 本市の平成 29 年の社会動態は、▲419 人となり、平成 28 年の▲320 人より減少幅が拡大
- 本市の平成 28 年の合計特殊出生率は 1.33 となり出生数も 6,000 人を割り込む
- 地域によって異なる人口減や高齢化の速度
- 単身者の増加、空き家の増加、担い手の不足など地域課題も多様化・複雑化



市や区の取り組みに加え、一律の支援策だけでなく地域の実情・特性に応じたよりきめ細かな人口減少対策を推進

市 新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略

区 区ビジョンまちづくり計画

地域 地域課題に応じた取り組みを実施

地域の取り組みを促進するため、各区の現状と課題、地域の活動状況、今後の方向性を記載した中間とりまとめを作成

意欲と熱意のある地域の取り組みを支援

2. 平成 30 年度の方向性

■ 地域の取り組みの推進

- 地域と協働し、人口減少に対応する取り組みを促進

<取り組み例>

【人口減少をゆるやかにする取り組み】

- ・ 移住モデル地区（移住推進モデル）への支援
- ・ 地域で開催する婚活を支援

【人口減少を受け止め、対応するための取り組み】

- ・ 地域包括ケアシステム構築に向けた取組みの促進
- ・ 健康寿命延伸の取り組み
- ・ 地域の公共施設のあり方について引き続き地域とともに検討
- ・ 空き家の調査や活用を支援、空き地等の活用によりエリア価値を向上させる取組みの必要性を共有（空き地等のエリアマネジメントの視点）
- ・ 開港 150 周年や水と土の芸術祭を契機とした交流人口の増加 など

■ 地域へ情報提供

- 地域が主体となった活動事例、地域カルテ、活用できる補助メニューなどを提供

■ 地域との意見交換

- 区政懇談会等を活用し、引き続き地域の主体的な取組みを促進

■ 支援体制の強化の検討

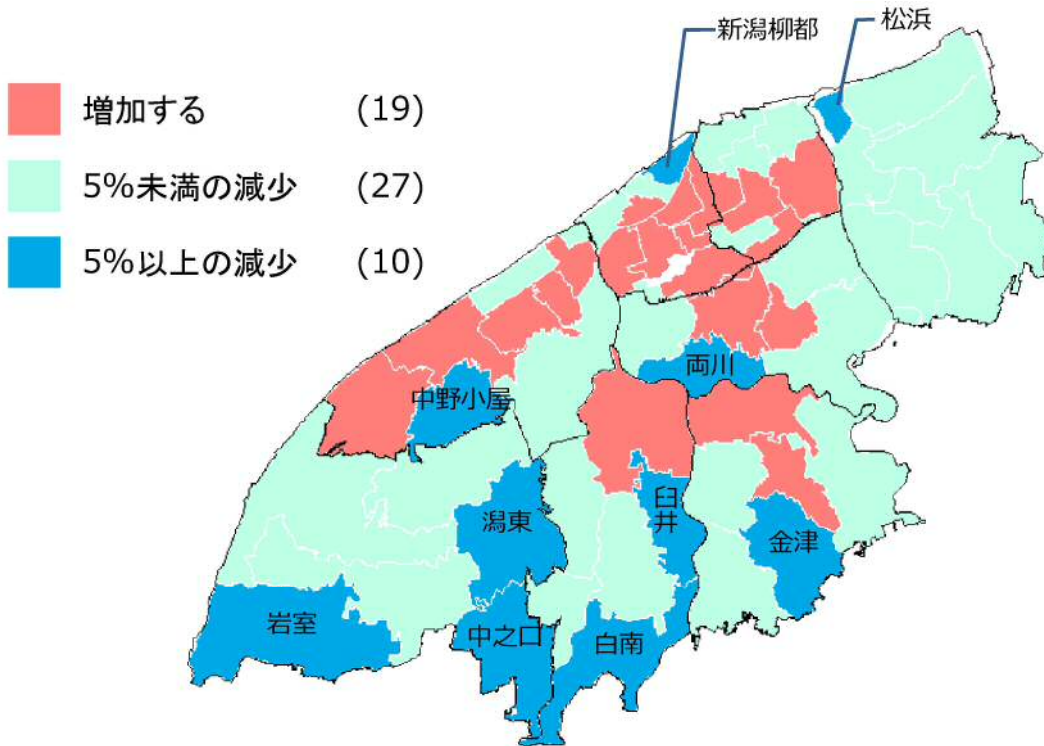
- 地域向け補助制度の見直し（利便性の向上、事務集約化など）
- 地域との意見交換を踏まえ、支援の強化等について各所属においても検討

人口増減率（2011年→2016年）

花開く活力。
広がる笑顔。
政令市新潟



- 主に近年、新たに宅地開発された地区がある校区において人口が増加。
- 田園地域のほか、新潟柳都や松浜といった校区でも5%以上減少している。

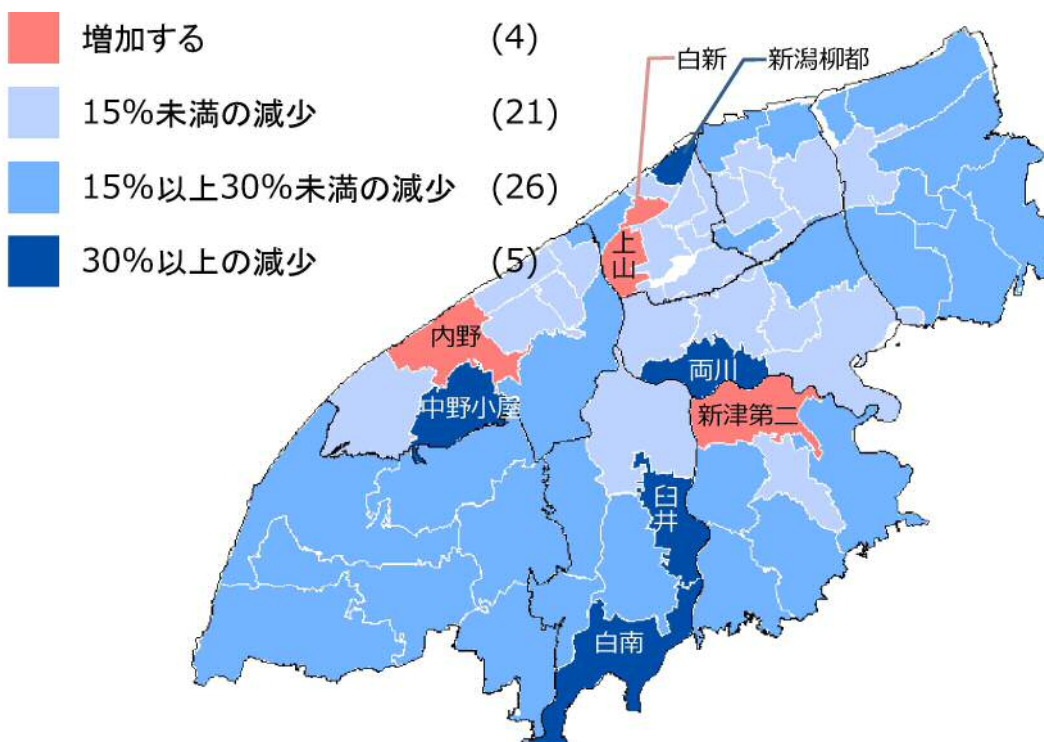


人口増減率（2016年→2036年）

花開く活力。
広がる笑顔。
政令市新潟



- 人口が増加する校区は4校に減少し、本市の9割強の校区で人口が減少する見込み。
- 30%以上減少の校区は5校。西蒲区全域が15%以上30割%未満の減少する見込み。

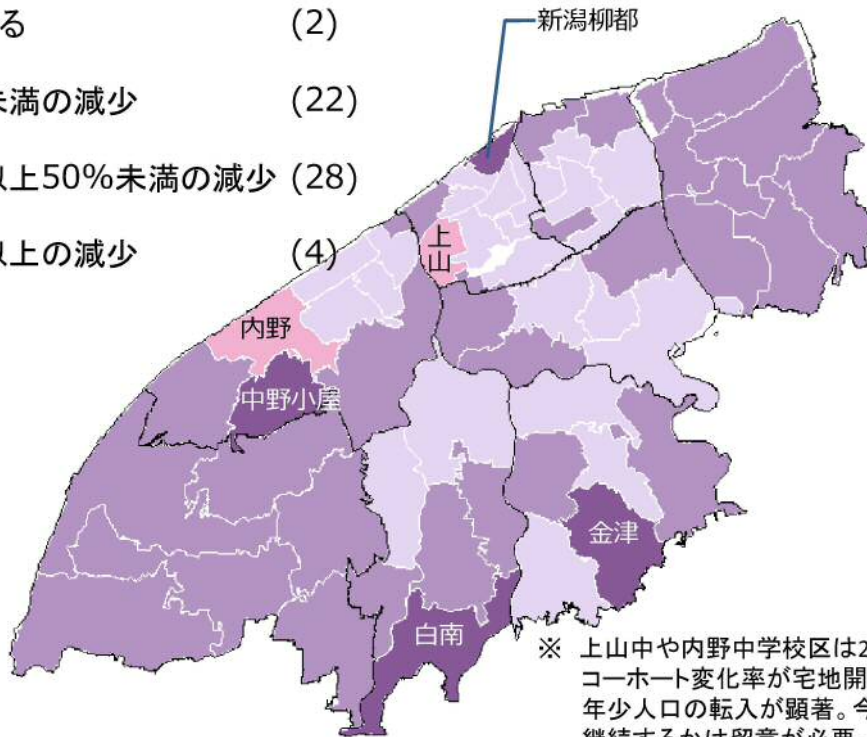


年少人口増減率（2016→2036年）



- 年少人口が増加する見込みの校区は2校のみ。ほぼ全ての校区で年少人口が減少。
- 50%以上減少する見込みの校区は4校。

増加する	(2)
25%未満の減少	(22)
25%以上50%未満の減少	(28)
50%以上の減少	(4)



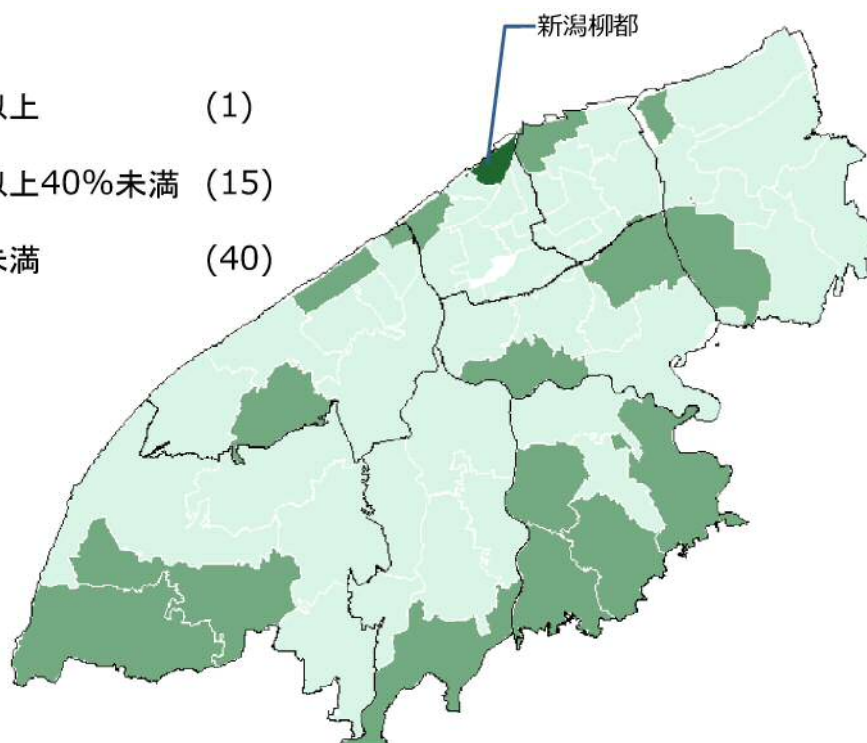
※ 上山中や内野中学校校区は2011年→2016年のコーホート変化率が宅地開発の影響等により年少人口の転入が顕著。今後もこの傾向が継続するかは留意が必要。

高齢化率（2016年）



- 高齢化率が40%以上の校区は、新潟柳都中校区のみ。
- 本市の3割弱の校区で高齢化率が30%以上となっている。

40%以上	(1)
30%以上40%未満	(15)
30%未満	(40)

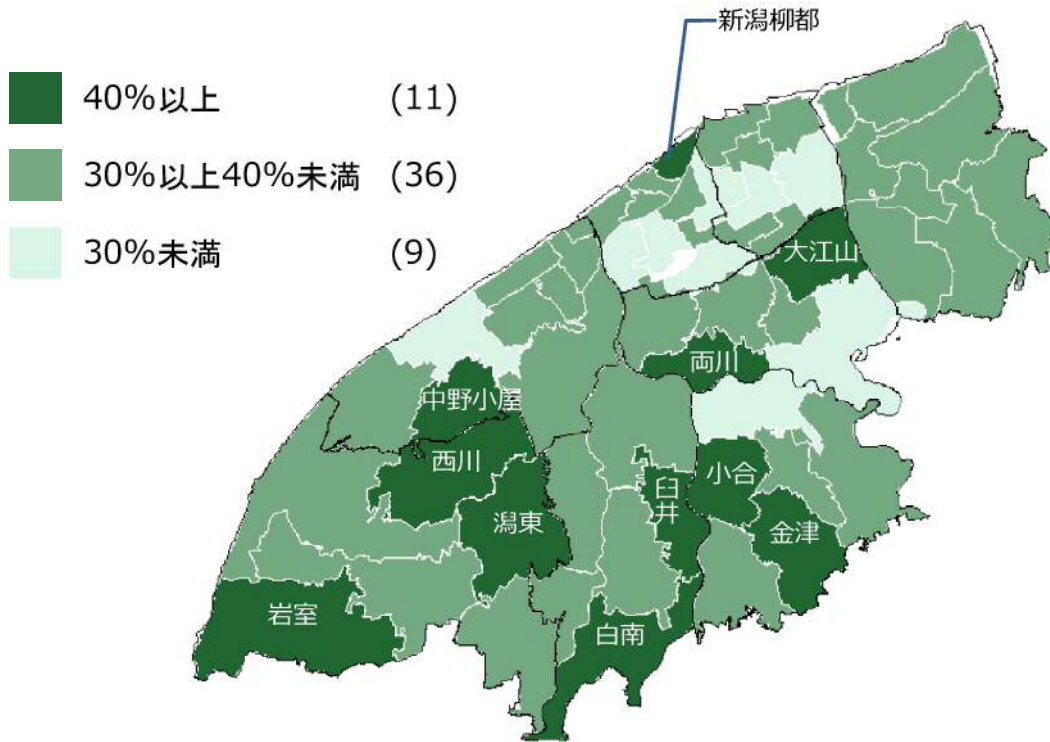


高齢化率（2036年）

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- 高齢化率が40%以上の校区は2016年の1校から2036年には11校に増加する見込み。
- 本市の8割強の校区で高齢化率が30%以上となる見込み。

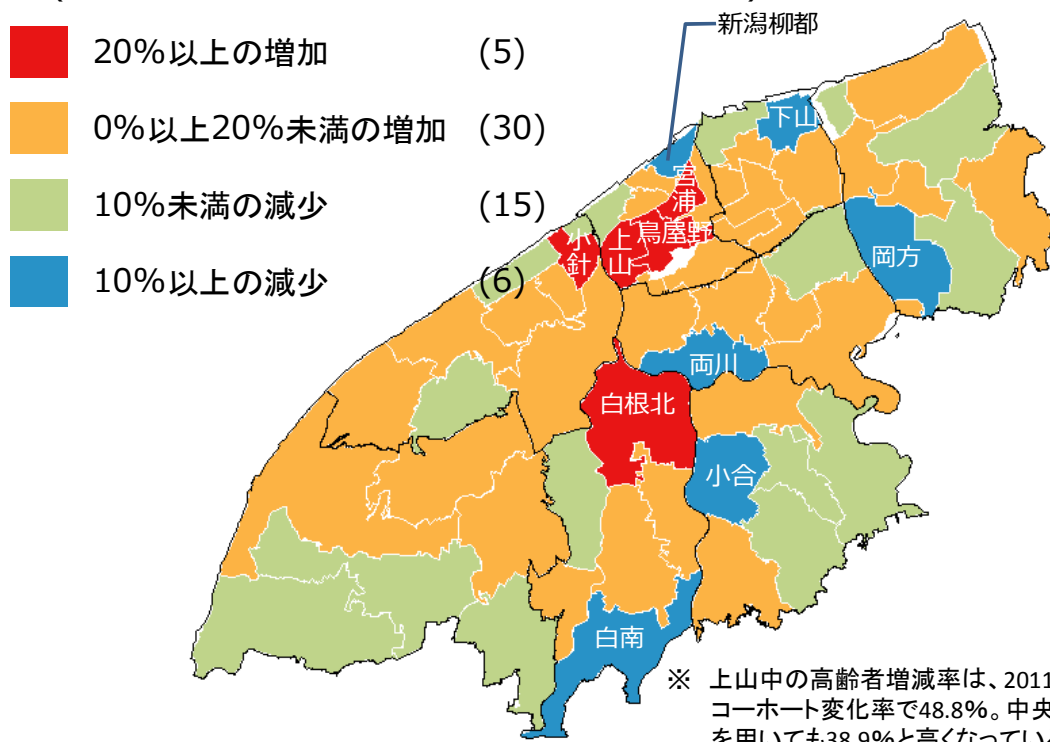


高齢者増減率（2016→2036年）

花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



- 4割弱の校区では、高齢者人口のピークを過ぎ、減少する見込み。
- 2016年の人口構成が高齢者が少なく、45歳～64歳の年齢階層が多い地域（宅地開発により、特定の年代層が集中して居住）で増加率が顕著。



後期高齢者増減率（2016→2036年）



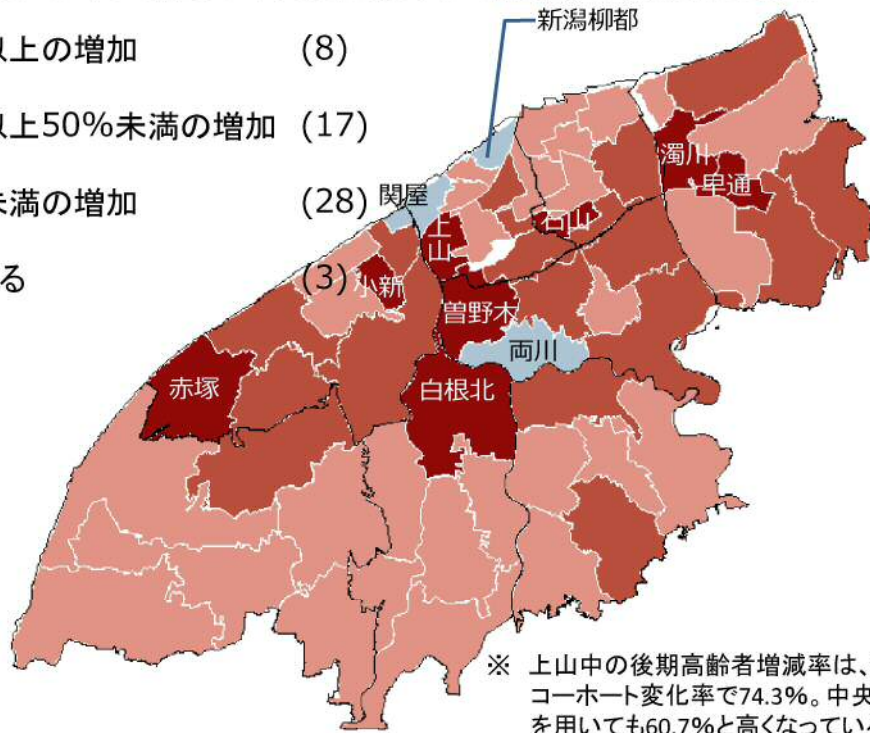
- 9割以上の校区で後期高齢者が増加。
- 2016年の人口構成が後期高齢者が少なく、55歳～74歳の年齢階層が多い地域（宅地開発により、特定の年代層が集中して居住）で増加率が顕著。

■ 50%以上の増加 (8)

■ 25%以上50%未満の増加 (17)

■ 25%未満の増加 (28)

■ 減少する (3)



※ 上山中の後期高齢者増減率は、2011年→2016年のコーホート変化率で74.3%。中央区平均の変化率を用いても60.7%と高くなっている。